公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス ルナ		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 8 日		～ 令和 7 年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 8 日		～ 令和 7 年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 3 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの内容が豊富である ・スタッフが充実している ・積極的に施設外での活動を取り入れている ・遠足などのイベントが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・価格会議を活性化させ、提案されたアイデアはなるべく取り入れ実現できるよう検討している ・保護者様との信頼関係が構築できる関わりを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・反省会にてフィードバックを行い次回への課題を明確にする ・スタッフ間での情報共有を図る
2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童の特性に合わせた関りを大切にし、支援が画一化されないようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性の把握 ・スタッフ間での情報共有 ・情報共有ツールの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様や関係施設への聞き取りの機会をふやし、支援が連続的なものになるようにする
3	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズム付けができる関りをしている ・集団療育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会や午睡前の絵本の時間などを取り入れ利用児童が施設ないで日常生活リズムが取れるようにしている ・一つのテーブルで昼食を摂るなど集団生活への適応を目指している 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な発達段階の利用児童を集団で療育するため、スタッフ一人一人の知識・技術向上に向けた研修への参加を行っている

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・PT、OT、STがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院や施設が主な就労先である職種なため業務内容などに不安があるのではないか ・小児リハビリや重症心身障害児へのリハビリ経験のある人が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な情報発信と募集の継続
2	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な療育を取り入れられていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験のあるスタッフが不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会の実施 ・研修への参加
3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様のニーズが明確化していないため方向性が定まらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様への聞き取りの実施 ・地域のイベントへの参加 ・他施設との交流の検討

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 放課後等デイサービス ルナ

公表日 令和 7 年 4 月 30 日

利用児童数 12名

回収数 11人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	2				配置基準を満たした支援体制を整えています。戸外活動の日等は安全面も考慮し、マンツーマンで対応できる人員配置にしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1				1ヶ月単位で月案として活動のねらいや目標設定を行い、HUGのサービス提供記録に公開しています。同じ活動にはアレンジを加えたりして工夫をしています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	5	4			公園などで遊ぶ際に、遊具を共有する事はありますが直接的な交流機会は設けておりません。今後検討して行きたいと考えています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	3			研修の充実を図り、支援者の育成に努めたいと考えています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	11					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2				半年毎のモニタリングの際や面談時以外でも、ご相談があった場合には、その都度一緒に考え共有するようにしています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11					

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2				一部マニュアルに関しては、契約時に文書を交付し口頭で説明させて頂いています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	4				年に2回、火災や地震等を想定した避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2				おおきな事故につながらないように、日々ビヤリハット報告などの事故防止への取り組みをしています。事故等があった際は、すぐに報告させて頂き、事故報告書を元に防止策を検討するようにします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11					
	29	事業所の支援に満足していますか。	11					

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 放課後等デイサービス ルナ		公表日		令和 7 年 4 月 30 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	活動内容を分けたり、活動場所を分散させている。	法令で規定されているスペースの確保はできているが、利用人数や活動内容によっては狭く感じる事があるので活動内容を分散するなどして工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	人員配置の基準は満たしている。活動内容によって、安全面を考慮して増員するなどして対応している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	日々の清掃・消毒はしている 目隠しボードを利用して区切るなど、落ち着ける環境作りに努めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6		重症心身障害児対象のため、個別の部屋の利用には対応していない。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	4	2	毎月1回会議を行い、目標に対しての振り返りを行っている。議事録を作成し情報共有もしている。毎朝朝礼をおこない、前日までの様子や当日の活動目標を決め支援にあたっている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	年1回、保護者向けに自己評価表の実施を行っている。また、モニタリングの際に保護者からご意見を頂き改善が必要な内容に関しては事業所内で話し合う事している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	第三者による外部評価は行っていない。 相談支援専門員の来所や行事に参加してもらうなどして、風通しの良い環境作りに努めている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	本年度よりオンライン研修を導入。 年間計画にそって、研修を受講していきます		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	ホームページでも公表しています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	HUGのサービス提供記録欄にて確認できません。利用日には振り返りを行うようになっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	契約時にアセスメントシートのご記入をいただき、半年毎に評価・見直しをしています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	本人支援・家族支援・移行支援・移動支援の項目を設け、必要な支援目標と支援内容を設定しています。	HUGまたは個人ファイルにて支援計画は確認できるようにしてあるが、職員間への周知ができていなかった。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	楽しんで参加できるように意見を出し合って決めている。同じ活動内容でも利用児童によって内容を変える等工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	年齢や発達段階に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせる工夫をして支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	支援終了の時間帯には常勤者のみになっているが、その日の振り返りと情報共有をおこなっている。	パート職員との情報共有の方法を確立できるように検討します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	日々の記録を毎日残し、その日の状況が分かるようにしている。	一人一人が記録の必要性を理解し、支援の検証や改善につながる記録スキルを身につける必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4	管理者または児童発達支援管理責任者が連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	4月から保育園との併行利用が開始になる児童が数名おり、送迎時に児童の様子や対応に関するの情報共有を行う様になっている。	今後、保育所等訪問支援などが必要になる可能性も踏まえて、体勢を整える必要があると考えています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	ご希望があった場合は見学に来て頂き、児童の様子を説明し情報共有をおこなっている。必要時サポートブックも提供しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	戸外遊びの時間を作り、公園などで遊具を共有するなど交流する機会を持てるように工夫はしている。	併行利用や以降につながる支援ができるように、今後活動機会が増やせるように検討して行きたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		研修の充実を図り、支援者の育成に努める必要がある。研修情報などがあれば、ご家族に伝えるようにしていきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	年に2回程度、家族参加型のイベントを企画して保護者様同士で交流を図って頂ける機会を設けている。きょうだい同士	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	4	HPやInstagramを活用して、定期的に活動内容を発信しています。個別の連絡に关してはHUGを活用しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		現状では地域住民の方々を招待するイベントなどの開催予定はありません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	一部マニュアルに関しては、契約時に冊子をお渡しし、口頭にて説明させて頂いています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	契約時に食物アレルギーの有無に関しては把握している。給食の提供はしておらず、持参のお弁当とおやつで対応しており、クッキングで作った物も自宅に持ち帰りご家族の判断で提供して頂く工夫をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	3	4月より研修の年間計画に沿って受講できる環境を整え、研修機会の確保をしました。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	現在、身体拘束を必要とする児童の利用はありませんが、必要時はマニュアルに沿って説明と同意を得て行う事としています。		